

第18期つやま産業塾「経営能力開発講座」第11回実施報告

- 1 日時 平成26年8月8日（金）
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 参加者 塾生14名 人財バンク会員3名
- 4 講義内容

第18期「経営能力開発講座」の最後となる第11回では、塾生による成果発表会、修了証書授与、閉講式を行いました。

今回の成果発表会は、6人の塾生が発表しました。発表内容は、講座で学んだことが業務にどう活かされたか、一年間の実績、仲間へのアドバイス、つやま産業塾への提案など多岐に渡りました。また発表形式も、パワーポイントやスケッチブックをめくる形での発表など、発表方法の面でもそれぞれの塾生の個性が表れる発表会となりました。

塾生の意見・感想等

- ・ 産業塾内で原理原則的なやり方を学べたこと、そのことにより、自分自身で実践できると確信できたことが自分の中で一番の成果であったと思います。
- ・ 質問力の大切さを学びました。コーチング講座や、塾生メンバーの質問力の高さを目の当たりにしたことで、質問により学び深める重要性を学びました。現在は、上司に質問することで、意見が通りやすくなってきたと感じています。
- ・ プレゼンテーションの講座を受けてからは、職場で発言機会がある度に学んだ手法を実践するように努めています。
- ・ 会社経営に必要な勉強をさせて頂き、まだまだ自分には足りないものが沢山あると気づきました。コーチングの講座で学んだ手法は、仕事だけでなく家庭でも役に立っています。
- ・ 「経営者の思いを聴く」の講義は同業種ということもあり、刺激になりました。講義をきっかけとして新たな製品（家具）を制作しました。
- ・ 産業塾で学んだことを実践するよう心掛けており、社内での発言回数も増えてきたと感じています。

成果発表後は、修了基準（出席率6割以上）を満たした塾生14人に可児塾長から修了証書が授与されました。

最後に、可児塾長より「塾生の皆さん、一年間ご苦労様でした。この塾は、皆さんが経営力を伸ばすためのきっかけやヒントを用意するものであると考えています。誰かに教えてもらうだけでなく、自ら学んでいくという学問の姿勢が大事です。今後も、この塾で学んだことを職場で実践しながら、自分を磨いていってください。また、企業経営の究極の目標は何であるか、この世の中で幸せを分かち合う経営とはどういうものかを考えていってください。」との講話がありました。

事務局としても、第18期塾生の皆さんが産業塾で学んだことを活かし、地域や職場で活躍されることを期待しています。

講座風景

